

MaachangComet とは？

- Web アプリケーションサーバです。
- Web サーバアプリを構成する言語は、JavaScript です (Java6 標準搭載の rhino を利用)。
- 当たり前ですが、MVC 構成です。
- MaachangComet と名前の通り、Comet を標準サポートしています。
- Dao が利用できます。また、RubyOnRails のように、MissingMethod が利用できます。
 < 例 > HogeTable.find_by_id(id) のような感じ。
- MaachangComet には、新しい Web アプリケーションを作成する上で、色々な便利なコマンドがあります。
 - 1 .mproj コマンドを利用して、新規の雛型プロジェクトを構築できます。
 - 2 .mscript コマンドで、コンソールから、JavaScript を実施できます。
 また、mscript の実行引数にスクリプトファイルを指定することで、バッチ起動もできます。
 - 3 .mtable コマンドを利用して、データベースにテーブルを新規作成できます。
 - 4 .mserver コマンドを利用して、MaachangComet を起動します。
 - 5 .mdown コマンドを利用して、現在稼動している MaachangComet をシャットダウンできます。
- MaachangComet は、擬似的な NonBlocking 実装であるため、1 コネクション = 1 スレッドな場合と比較して、安定動作です。

 ・・・と言った感じですが、簡単にまとめると、
 「サーバサイト Javascript で、RubyOnRails 的なことができるアプリケーションサーバ」みたいな感じです > <

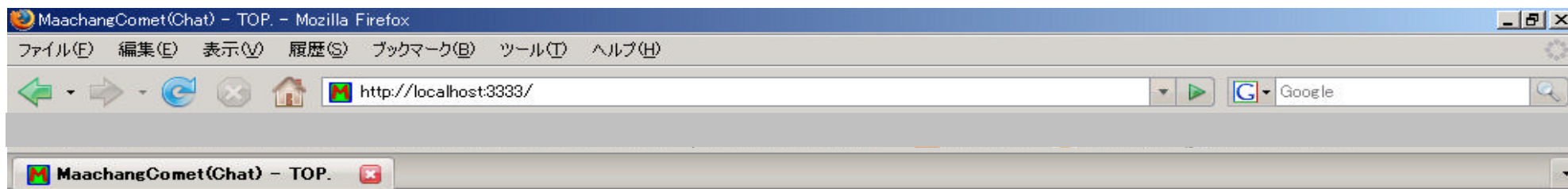
MaachangComet **を利用するための準備**

- Java をインストールします。MaachangComet は、ScriptEngine を利用しているので、Version6(1.6)か、それ以降のバージョンをインストールしてください。（BEA JRockit のほうが、MaachangComet の動作が速いので、そちらを推奨）
- 環境変数[JAVA_HOME]を先ほどインストールした Java のパスで設定します。
- ダウンロードしてきた MaachangComet.zip を解凍します。
- 環境変数[MAACHANG_COMET]を先ほど解凍したディレクトリ名として設定します。
＜例＞解凍先「c:¥MaachangComet」の場合は、MAACHANG_COMET=c:¥MaachangComet と設定。
- 環境変数[PATH]に、[\${MAACHANG_COMET}]/sh]を追加します。
- MaachangComet がサポートしている RDBMS(MySQL,Postgrge,Firebord,Derby,HSQL,H2)のどれかをインストールします。
- 先ほどインストールした RDBMS の JDBC ドライバーを用意します。
 - ・・・これで、MaachangComet が利用できる環境が構築できました。

使ってみよう MaachangComet

- ・ ダウンロードしてきた MaachangComet の中に、samples というディレクトリがあるので、その中の[MComet]を使ってみます。
- ・ `${MAACHANG_COMET}/samples/MComet` にディレクトリ移動します。
- ・ 先ほどインストールした RDBMS のドライバを`${MAACHANG_COMET}/samples/MComet/jar` にコピーします。
- ・ データベースコンフィグファイル`${MAACHANG_COMET}/samples/MComet/conf/record.conf` を編集。
flag=true
adapter= “ RDBMS 名 ” (MySQL=mysql,Postgre=postgre,Firebord=firebord,Derby=derby,HSQL=hsqI,H2=h2)
driver= “ ドライバパッケージ名 “
url= “ 接続先の JDBC-URL ”
user= “ 接続ユーザ名 ”
passwd= “ 接続パスワード ”
- ・ これらを編集した後、カレントディレクトリを`${MAACHANG_COMET}/samples/MComet` に設定し、mtable コマンドを実行。
> これで、MComet に必要なデータベーステーブルが作成されます。
- ・ カレントディレクトリを`${MAACHANG_COMET}/samples/MComet` に設定し、mserver コマンドを実行。
- ・ ブラウザを起動させ、URL に[http://localhost:3333/]を設定。
- ・ ・ ・ ・ これで、基本的に、MaachangComet が動いているはずですが。
無事 MaachangComet が実行できた場合は、次ページのような画面が出てきます。

MComet 1 ページ目

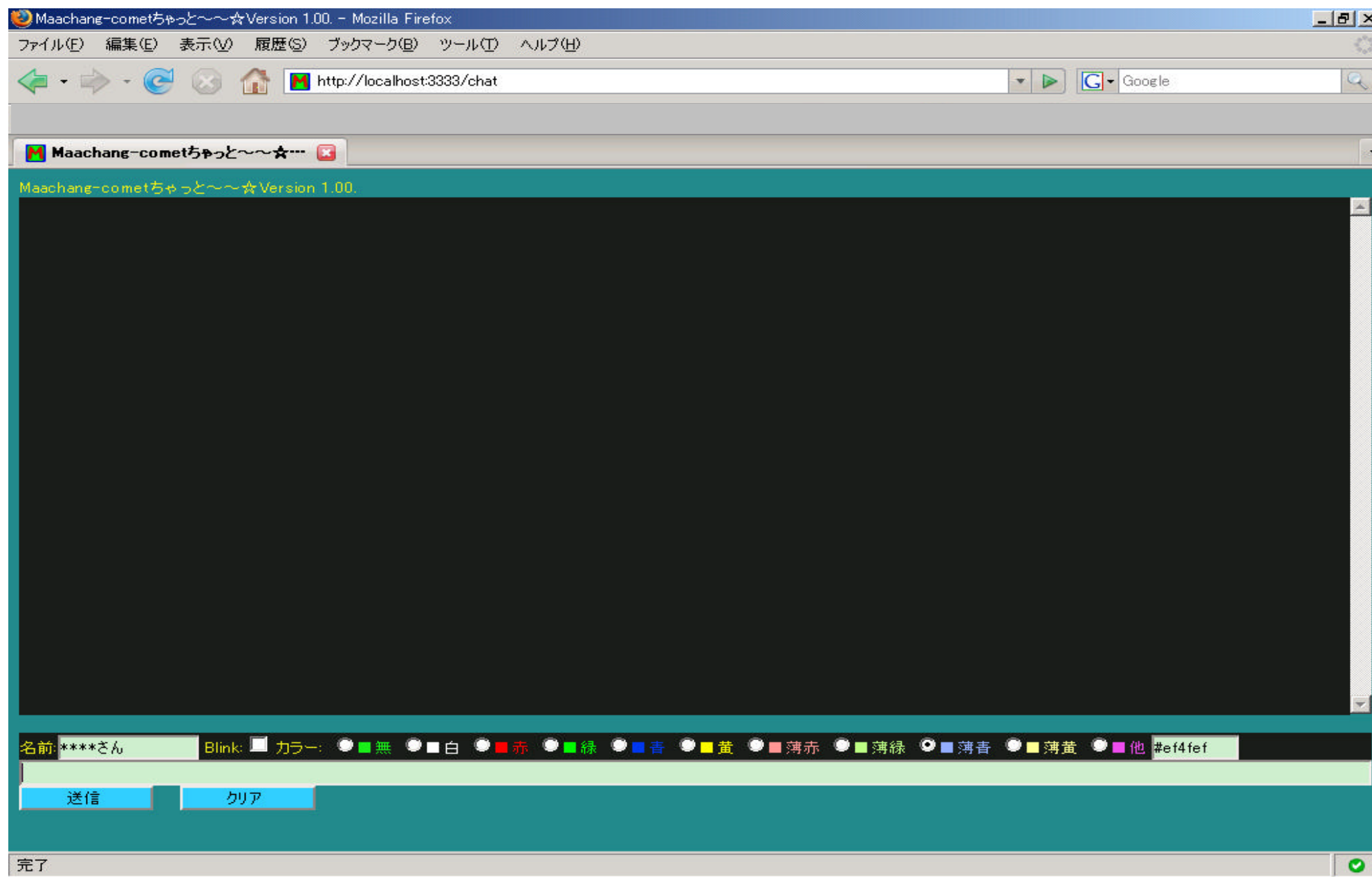


[チャットに入る](#)

完了



MComet2 ページ目(チャットに入るリンクを押した場合)



MComet **説明**

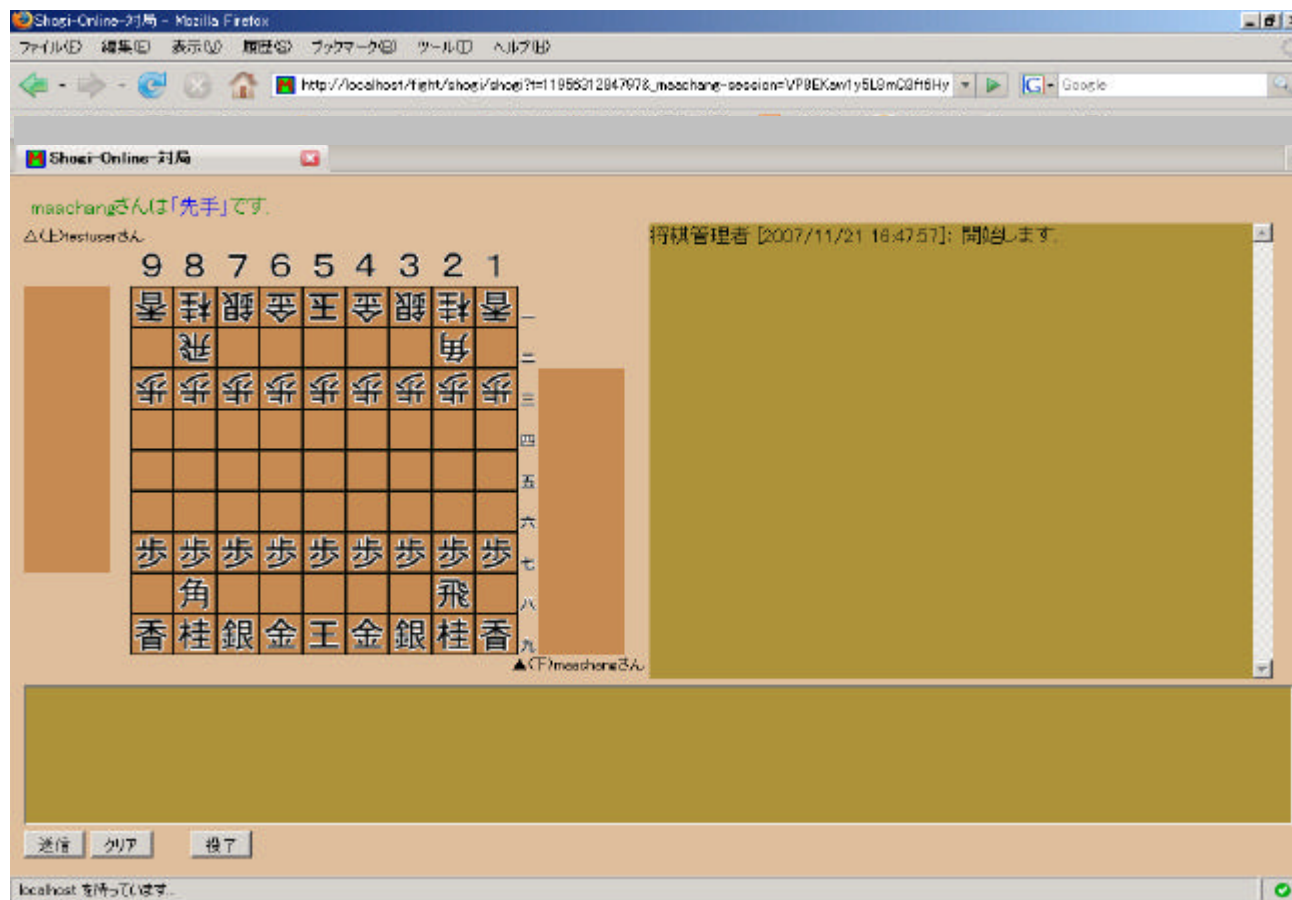
- ・ MComet は、Comet を使ってチャットが動いています。
 - ・ ためしに、チャット内容を投稿してみてください。暫くしたら、入力内容が表示されます。
 - ・ 次に、F5 などを押して、このページをリロードします。
 - ・ 前回入力した内容が表示されます。
 - ・ ほかの人と接続してみてください。他の人が入力した内容が、自分の画面に反映されます。
注：MComet を起動しているブラウザから、別画面を開いて、MComet には接続しないでください。HTTP1.1 では、2 コネクションしかサポートされていないため、挙動がおかしくなります。
- ．．．．以上サンプル説明を終わります。

もう1つのサンプル説明

MComet は、Ajax 型の Comet 接続サンプルです。他のサンプルとして、MShogi があります。で、何が出来るかと言うと、Comet を使って将棋の対戦ができる、サンプルです。これは、MComet と同じ Samples ディレクトリにあります。

このサンプルは、JSONP 型の Comet 接続サンプルですが、将棋盤の表示部分の問題で、FireFox だけが動作可能です。
MShogi のほうが、普通の Web アプリのような部分を多く実装しています。たとえば、Validate とか、Session 周りとか。

こちら、MComet と同様に Setup することで、動作するので、こちら動かしてみてください。



最後に

以上、サンプルを元に MaachangComet を説明しましたが、いかがでしょうか？

私が、MaachangComet を作った理由としては、単純な動機です。1つの言語で Web アプリケーションを作れば、覚えるのも、使うのも楽ジャン的な発想が元で、作りました。

今までの私は、Java 言語での Web アプリケーション開発を中心に行っていたのですが、如何せん開発効率が良くないような気がしていました。最近 RubyOnRails に触る機会があったので、使ってみたのですが、非常にシンプルで、必要な環境が整っている。しかし、サーバ側の実装を Ruby 言語を書いていて、クライアント側の実装を JavaScript を書くと、記述内容を間違えることが多々ありました。

全ての環境を Javascript で組めれば、楽ジャン的な間隔に襲われること、幾度とあり、じゃあ、作ってみよう的な発想で作ったのが、MaachangComet です。

非常に単純な動機で作ったのですが、フルスクラッチで作成し、現在に至ったわけですが・・・・・・雛型を作るのに2週間・・・・テストや問題点を洗い出したり、修正したりするのに、2ヶ月・・・・やはり、作るだけってより、完成させるほうが、はるかに時間がかかります><。

MaachangComet が皆様のお役に立つようなことがあれば、幸いと思います。何かございましたら、以下にメールをください。

ms@y-ys.com

または、maachang@gmail.com